

あわじ環境未来島副読本

みらい



市立	小学校	5年	組
名 前		6年	組

編集・発行／淡路県民局・淡路教育事務所
一般財団法人 淡路島くにうみ協会

はじめに

わたしたちの住む淡路島は、「国生みの島」「御食国」とも呼ばれ、興味深い歴史や豊かな自然環境・たくさんのおいしい食べものなど様々な地域資源に恵まれています。このたび小学生のみなさんが淡路島の良さを知ることによって、ふるさと淡路島を誇りに思い、更にみなさんがこれからもくらししていく淡路島の将来について考えるきっかけとなるよう、「淡路ふるさと学習副読本－ふるさと淡路島－」と「あわじ環境未来島副読本－みらい－」を作成しました。

「あわじ環境未来島副読本－みらい－」では、淡路島で取り組みが進められている「あわじ環境未来島構想」について学んでいただきます。この構想は、島の良さを活かして、自然にやさしく、すこやかにくらし続けられる地域をつくる取り組みです。

この副読本を通じて、島内で行われている様々な取り組みについて知り、自分たちの住む淡路島の将来をみなさん一緒に考えていきましょう。

最後に、この副読本の作成にご尽力いただきました関係者のみなさまに感謝申し上げます。

兵庫県淡路県民局長

目次

はじめに 兵庫県淡路県民局長

1	あわじ環境未来島ってどんな島？	
	(1)わたしたちの住む淡路島	 1
	(2)自然にやさしく、すこやかに暮らし 続けられる淡路島をめざして	 1
2	再生可能エネルギーの島	
	(1)再生可能エネルギーって何だろう？	 3
	(2)世界の環境先進国はすごい!!	 5
	(3)淡路島のエネルギーの自給自足	 7
	(4)環境にやさしい乗り物	 7
3	農漁業生産で生きる島	
	(1)特産品の魅力を発信	 9
	(2)農業をはじめの人たち	 11
	(3)これからの農漁業	 13
4	都会にない価値観とくらしやすい淡路島	
	(1)地域資源を活かした地域づくり	 15
	(2)淡路島らしい仕事づくり	 17
	(3)高齢者にやさしい島	 18
5	これからの淡路島を考える	
	(1)どんな島が良いのか考えてみよう	 19
	(2)わたしたちにできること	 22

参考文献・引用文献一覧

写真・取材及び資料提供協力者一覧

おわりに 淡路教育事務所長

キャラクター紹介

この副読本でみなさんを案内してくれる「たまねぎくん」と「おにおんちゃん」です。この2人は、淡路島の特産品「たまねぎ」の妖精です。

今、淡路島ではどんなことが行われているのでしょうか。「たまねぎくん」「おにおんちゃん」と一緒に「あわじ環境未来島構想」について学んでいきましょう。



たまねぎくん

淡路島では、色々な取り組みが行われているよ。

わたしたちと一緒に考えていこう。

おにおんちゃん



1 あわじ環境未来島ってどんな島？

1 わたしたちの住む淡路島



わたしたちの住む淡路島は、どんな島だろう？
今の淡路島はどうなっているのか、考えてみよう。

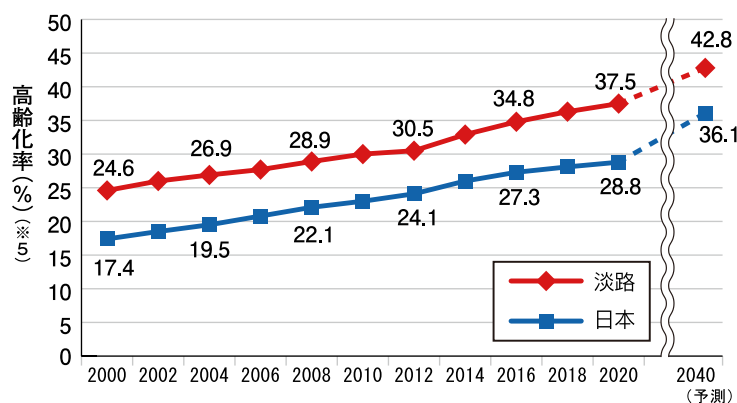
みなさんの住んでいる淡路島は、温暖な気候で、太陽が地上を照らす時間も長く、花と緑が豊かな島です。古くは万葉の時代^(※1)から、食材^{ちようてい けんじよう}を朝廷に献上していたので「御食国^{み けつくに}」とも呼ばれ、農業や漁業^{さか}が盛んです。

また、日本で最初にできた島とされる「国生み神話^{くにう しんわ}」の言い伝えがあるなど歴史ある島で、人々のつながりも強い地域です。

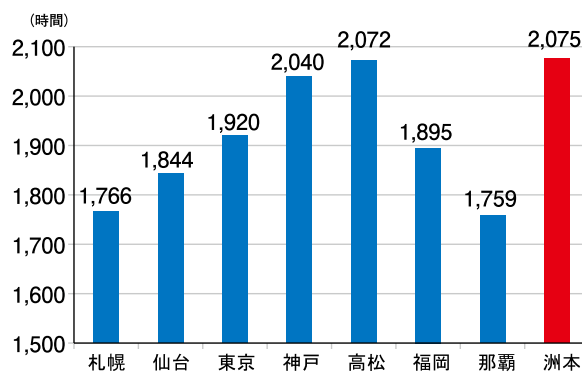
しかし、少子高齢化^(※2)、働く場所の減少、公共交通機関^(※3)の縮減^{しゆく}、後継者不足^(※4)など様々な課題もあります。これは淡路島だけでなく、日本の地方共通の課題でもあります。



淡路島の風景「あわじ花さじき」



淡路島の高齢者の割合の推移
(出典：総務省・内閣府のHPを基に作成)



主要都市の年間日照時間（1981～2022年平均）
(出典：気象庁のHPを基に作成)

2 自然にやさしく、すこやかに暮らし続けられる淡路島をめざして

なぜ、あわじ環境未来島構想に取り組むのかな？



1 あわじ環境未来島構想とは

淡路島のかかえる課題に対して、島の良さを活かして、自然にやさしく、すこやかに暮らし続けることができるよう様々な地域づくりを進めます。そして、この取り組みが、日本全体のモデルとなり、その成果を国内外の発展^{はってん}に役立ててもらふこともめざしています。

- ※1 万葉の時代 : 日本の最古の和歌集「万葉集」が編まれた7世紀後半から8世紀後半の時代のこと。
- ※2 少子高齢化 : 子どもの数が少なくなり、高齢者の割合が高くなること。
- ※3 公共交通機関 : 不特定多数の人が利用する乗り物。淡路島では、路線バスや定期船のこと。
- ※4 後継者不足 : 農業や漁業などの仕事を受け継ぐ人がなく、足りないこと。
- ※5 高齢化率 : 65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。



あわじ環境未来島ってどんな島だろう？
淡路島で取り組まれていることを見てみよう。



2 構想の進め方

環境や人と人とのつながりを大切にしながら、エネルギーや食料を自分たちの地域^{ちいき}で必要な量をまかない、子どもから高齢者^{こうれいしや}までが充実した生活を送ることができるような取り組みを、兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市をはじめ住民グループ、企業^{きぎょう}など、様々な人々や団体で進めています。

また、淡路島全域が地域活性化総合特区^(※6)である「あわじ環境未来島特区」として国から指定を受け、特区の仕組みを活用し、国の支援^{しえん}も得ながら進めています。

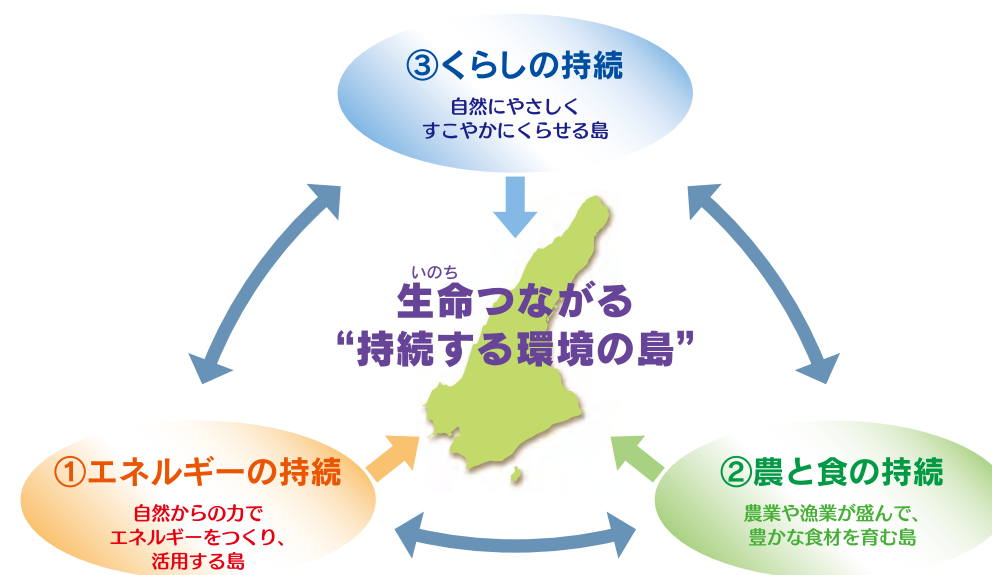
3 取り組みの3つの柱

淡路島の最大の強みは、エネルギーと食料を自分たちの地域で必要な量を生産できる、恵まれた地理的環境^{めいぐ}にあります。その強みを活かして、

- ①太陽光などの再生可能エネルギーを活用して「エネルギーの持続」ができる島
- ②安心と健康を支える食の生産を通じて「農と食の持続」ができる島
- ③人と人、人と自然のつながりを大切にしながら「くらしの持続」ができる島

をめざします。

「エネルギー」「農と食」「くらし」の3つの持続を柱に「生命^{いのち}つながる“持続する環境の島”」の実現をめざします。



取り組みの3つの柱と地域の将来目標

4 みなさんが主役

自然にやさしく、すこやかに暮らし続けることができ、住んでみたいと思う淡路島をみなさんでつくっていきましょう。

私たちが住む淡路島を、一層魅力ある島とするにはどうしたら良いでしょうか。この副読本を通じて、将来の淡路島^{いっしょ}を一緒に考えていきましょう。

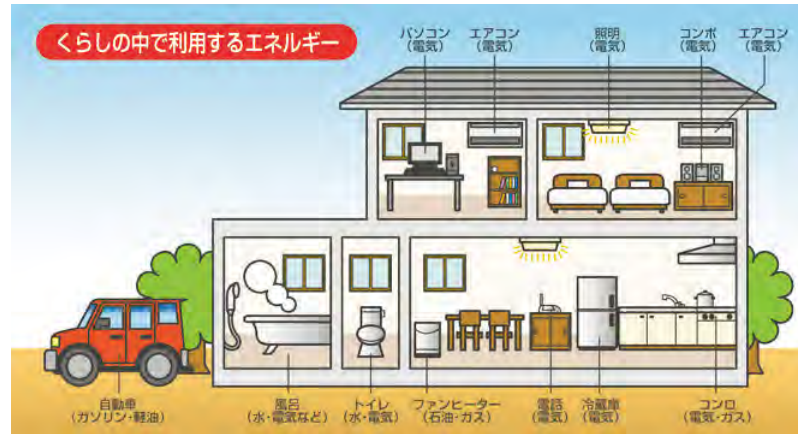
- ※6 地域活性化総合特区 : 地域資源を最大限活用した地域活性化をはかり、他に先がけた取り組みを行うことができるとして指定された区域であり、国が規制・制度の特例などの特別の支援を行う。

1 再生可能エネルギーって何だろう？



新しいエネルギーの研究や開発がすすめられているのを知っているかな？
未来のエネルギーについて考えてみよう。

①わたしたちの暮らしとエネルギー



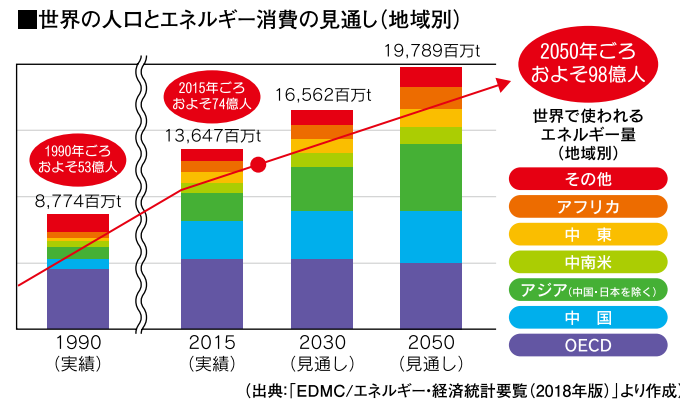
(出典:四国電力HP)

わたしたちの生活になくてはならないのが電気やガスなどのエネルギーです。くらしが便利になるにつれ、エネルギーの消費量は増加してきました。また、世界の人口の増加にともない、エネルギーの消費量は今後ますます増え続けていくと予想されています。

さらに、これまでのような石油や石炭などの化石燃料に頼る発電では、地球温暖化につながる温室効果ガスを排出するという問題があります。そして、なにより石油や石炭などの資源には限りがあります。

また、原子力による発電は2010年までは全体の約30%を占めていましたが、2011年の東日本大震災が原因の事故により、安全性の確保などが課題となっています。このため2011年以降、多くの原子力発電所が長期間停止するなどの事態が起きています。

(資料1)世界の人口とエネルギー消費の見通し



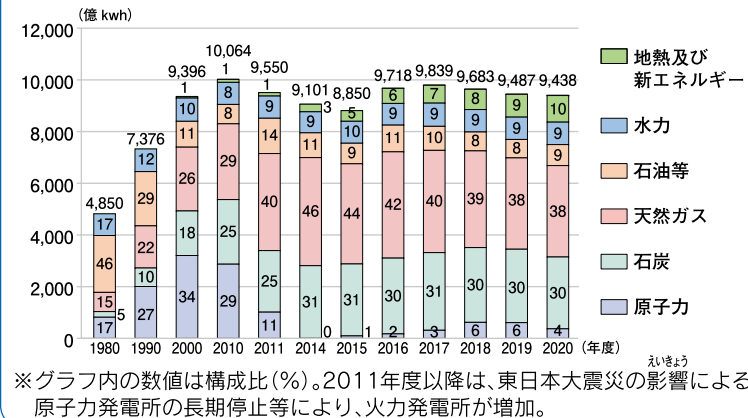
(出典:四国電力HP)

(資料2)各資源の利用可能な年数



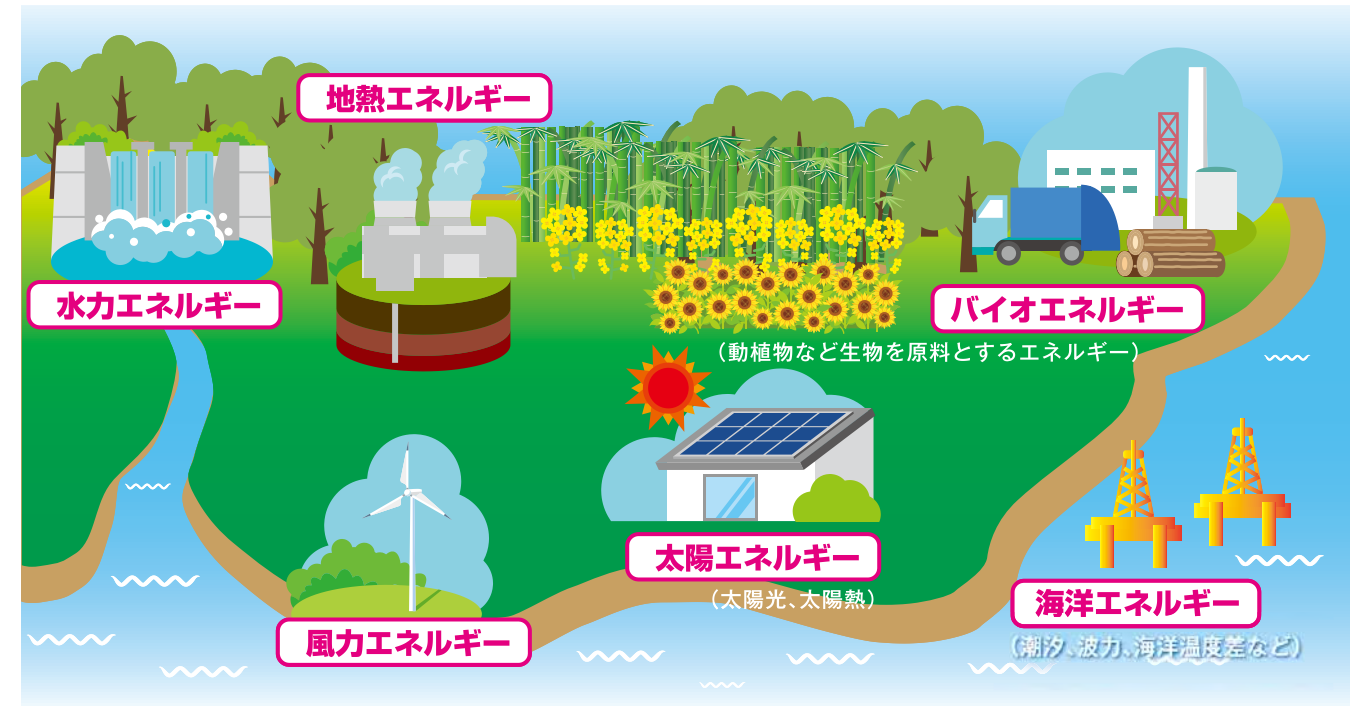
(出典:「原子力・エネルギー」図面集)

(資料3)電源別発電電力量構成比



(出典:電気事業連合会のHPを基に作成)

②持続可能な^(※1)未来のために欠かせない再生可能エネルギー



そこで注目されているのが、次の3つの要素を兼ね備えた「再生可能エネルギー」です。

1. どこにでもある！……太陽光や風力は、どこにでもあるエネルギーです！
2. 地球温暖化につながらない！…温暖化の原因である二酸化炭素を増やしません！
3. 限りがない！……自然の力は限りがなく、なくなる心配がありません！

③次世代のエネルギー「水素」

再生可能エネルギーは、天気などの条件に左右されやすく、安定してつくり出せないという弱点があります。そこで、新しいエネルギーとして、水素が注目されています。

水素は、電気を使って水から取り出すことができ、石油などの化石燃料、下水汚泥、使い終わったプラスチックなど、さまざまな資源からつくり出すことができます。また、水素は、酸素と結びつけて発電したり、熱エネルギーに変えることができますが、そのとき、温室効果ガスを排出しません。

このため、水素自動車など、水素をエネルギーとして活用する研究が始まっています。

※1 持続可能な : 環境を維持し自然資源をなくすことなく、将来世代に引き継ぐことができること。

2 再生可能エネルギーの島

2 世界の環境先進国はすごい!!



再生可能エネルギー100%をめざすデンマーク王国では、どのような発電が行われているのか、調べてみよう！

①デンマーク王国の再生可能エネルギーへの取組

デンマーク王国(以下「デンマーク」)はかつて、エネルギー供給の90%を輸入原油に頼っていました。

しかし、1970年代の石油危機※1によって、原油の価格が急激に上がり、経済に大打撃を受けたため、石油・石炭・ガスなどの化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの導入に力を入れています。

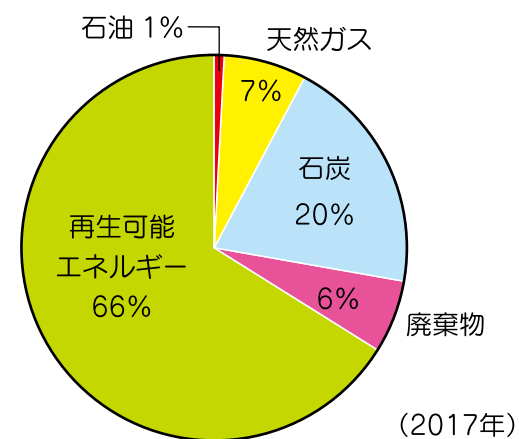
デンマークは、2050年までに、再生可能エネルギーだけで必要なエネルギーを全てまかなうことをめざしており、同国のエネルギー総消費量に占める再生可能エネルギーの割合は、1990年には僅か6.1%でしたが、25年後の2015年には28.6%まで伸びるなど、国を挙げての取り組みが行われています。



デンマーク王国地図(出典:外務省HP)

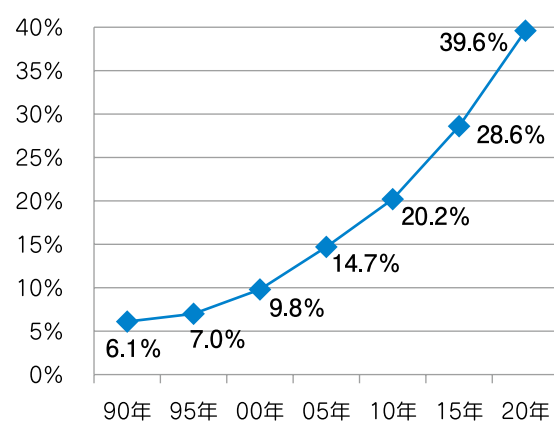
【デンマーク】

発電に占める燃料の種類と割合



(出典:ニューラル Sustainable Japan を基に作成)

エネルギー総消費量に占める再生可能エネルギーの割合



(出典:Energy Statistics2020, Danish Energy Agency を基に作成)

※1 石油危機 : 中東諸国による石油の供給が限られ、値段が高くなることで起きた世界的な経済危機のこと。

環境未来島

②デンマークの洋上風力発電

デンマークでは、1891年に世界で初めて風力発電機が設置されるなど、早い時期から風力発電の開発に力を入れてきました。

風力発電の導入が進んだ理由は、この国の地形が大きく関係しています。デンマークは、通称「パンケーキの国」と表現されるほど、土地の高低差がなく、平たんな国です。このため、デンマークでは一年中強い風が吹いており、多くの発電が可能となっています。

現在、デンマーク国内にはすでにたくさんの風力発電所があり、設置場所の不足や騒音・景観の問題があることから、その設置場所は陸地から海上に移行しています。このような海上での風力発電を洋上風力発電といいます。

洋上風力発電は、陸地よりも次のような点でメリットがあると言われています。

1. 強い風力が得られる………発電量が多い！
2. 風の強さが安定している………発電効率が良い！故障が少なく長持ちする！



洋上風力発電

デンマークは、環境を活かした再生可能エネルギーを発電していることがわかるね。みんなの住む淡路島でも、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの開発は、できないだろうか？



明石海峡の潮の流れ



菜の花



太陽に照らされた棚田

2 再生可能エネルギーの島

3 淡路島のエネルギーの自給自足

淡路島のエネルギー(電力)自給率は、2020年で約59.6%ですが、太陽光や風力などの再生可能エネルギー創出に取り組むことにより、2050年には100%をめざしています。

西風を生かした風力発電

淡路島西岸部の風を活用し、風力発電を行っています。



南あわじ市阿那賀地区(2,500kw×15基)



淡路市野島地区(2,000kw×6基)

豊かな日照を生かした太陽光発電

一年を通して晴れる日が多い瀬戸内気候を活かして、大規模な太陽光発電所が多数設置され、発電を行っています。



淡路市野島貴船地区(30MW)



住民参加型くにうみ太陽光発電所(1MW)



龍谷フロートソーラーパーク洲本(1.7MW)

淡路市野島地区の風力発電所では、約6,500世帯分の電気が作れるんだよ。

南あわじ市阿那賀地区の風力発電所では、約12,000世帯分の電気が作れるんだよ。



…主な大規模太陽光発電所
…主な風力発電所

淡路島では太陽光による発電容量が、2017年末には全体で130メガワットを超えたよ。

淡路島は、温暖な気候で日照量が多く、西風が吹いているよ。
これらの地理的特性を活かし、使われていない土地を使ってエネルギーの自給自足に向けた取り組みが進められているから調べてみよう。

様々なバイオマスの利用

菜の花油などの食用油や、動物や植物などから生まれた生物資源(バイオマス)を活用して燃料などに利用し、資源のリサイクルを行っています。



菜の花バス(洲本市五色町)



使用済食用油から燃料を製造する装置(洲本市五色町)



竹チップ焚きバイオマスボイラー(洲本市五色町)

洲本市五色町都志の温浴施設には、全国的にも珍しい竹を燃やして給湯する「竹チップ焚きバイオマスボイラー」が設置されているよ。

放置竹林が増えると、イノシシなどの野生動物のすみかになって農作物への被害が広がるから、竹林を整備して切った竹をエネルギーとして活用しているんだ。



淡路島の放置竹林

4 環境にやさしい乗り物

淡路島には、鉄道がなく、公共交通機関が十分ではありません。そのため、住民の移動手段は、自動車を中心となっています。現在、多くの自動車は、二酸化炭素の排出量が多いガソリンなどの化石燃料で走っています。そこで淡路島では、より二酸化炭素の排出量が少ない、環境にやさしい電気自動車の導入を進めています。

	自動車が1km走る間に排出される二酸化炭素の量	エンジンの騒音	振動
電気自動車 (1kwhあたり9km走る車)	38.8g	ほとんどない	ほとんどない
ガソリン車 (1Lで20km走る車)	115g	ある	ある

電気自動車って知っているかな？どこが今までの自動車とちがうのだろう。
電気自動車の他にも環境にやさしい乗り物があるよ。調べてみよう！

※電気自動車の二酸化炭素排出量は、関西電力㈱による二酸化炭素排出係数(2020年度)により算出しています。
※ガソリン車の二酸化炭素量は、1Lあたりの二酸化炭素排出量を2.3kgとして計算しています。



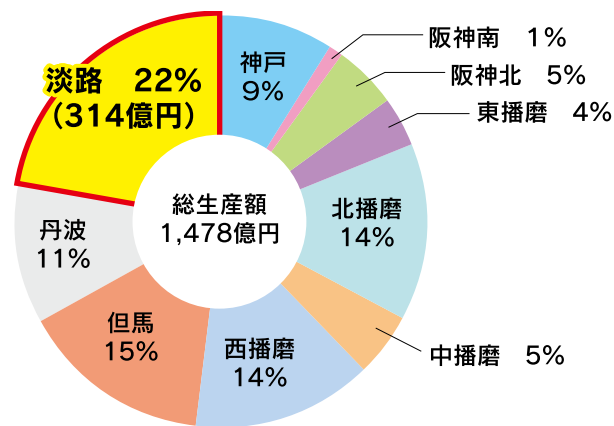
電気自動車

1 特産品の魅力を発信

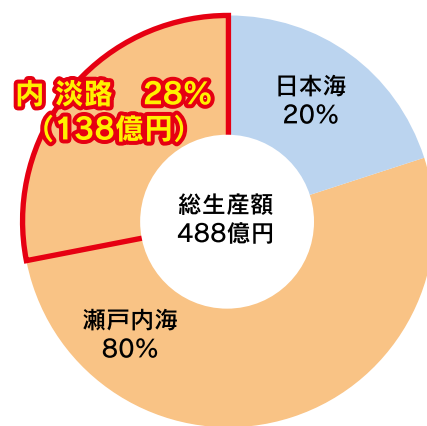
淡路島の特産品の魅力を調べてみよう！



淡路島は多くの農水産物を朝廷に献上していたので「御食国」と呼ばれていました。古くから農水産物が豊富であり、おいしい食材が多かったことが分かります。現在も、県内の農業生産額の約1/4、漁業生産額の約1/4を生み出しており、淡路島の食料自給率は100%を超えています。温暖な気候風土で、多くの農漁業者がいる淡路島だからこそできるのです。しかし、淡路島の食材の魅力が島外の人たちに十分に知られていません。そのため、島内外の多くの人に食べてもらい、知ってもらえるように淡路島の特産品の魅力を発信していくことが必要です。



兵庫県内の農業生産額割合(2020年)
(出典:第70次兵庫農林水産統計年報を基に作成)



兵庫県内の漁業生産額割合(2020年)
(出典:洲本農林水産振興事務所の資料を基に作成)



1 淡路島の特産品

淡路島たまねぎ

年間を通じて瀬戸内海特有の温暖な気候に恵まれた淡路島。淡路島たまねぎは、日光が当たる時間が長く、じっくりと時間をかけて育てるため、糖度が高く日本一甘いと評判です。また、香りも良く、玉ねぎ特有の辛みは控えめなのでどんな料理にもぴったりとあいます。



淡路牛

日本を代表する松阪牛や神戸牛もそのルーツは「淡路牛」にあります。淡路島では、肉質の良い母牛ばかりを選定し計画的な交配を行っています。そうすることで、質の良い淡路牛ができます。淡路牛の霜降り肉は和牛独特の旨味と香りが引き立つ最高級品でもあります。



鯛

海に囲まれた淡路島。その潮の急流の中で育った鯛は、身が引き締まり、脂がのって非常に美しいのが特徴で、飲食店、漁業者、行政など、地域が一体となって「淡路島えびす鯛」としてブランド化に取り組んでいます。

鯛本来の上品で淡白な味わいをいかす活け造りや、那智黒石を敷き詰めた宝楽鍋で蒸し焼きにした宝楽焼きなどが有名です。



2 新しい淡路島ブランドを育てる～3年とらふぐ～

淡路島の南端、福良湾では、3年とらふぐを淡路島ブランド(※1)にする取り組みが行われています。

「淡路島3年とらふぐ」は、鳴門海峡の潮流が生み出すミネラル豊富な漁場で、通常2年で育てるところを、3年の歳月をかけて育てられます。国内産の稚魚のみを大切に育てることで、より引き締まった身となり、ひと味がう濃厚な旨味・歯ごたえがあります。

しかし、水温の大きな変化で病気になる事もあり、稚魚を35,000匹育てても、3年後には約半分になってしまいます。

生産者は、ふぐを大きな生け簀でのびのびと泳がせ、水温に気を使いながら大切に育てています。



1・2年もの比べると
大きさの違いは歴然！

3 淡路島ブランドを全国に！

淡路島の農畜水産物をつくる人、商品に加工する人、商品を売る人、さらにホテルや旅館が一体となって、淡路島を魅力的にするとともに、京阪神などの大きな都市の人々にも淡路島ブランドを知ってもらい取り組みが行われています。例えば、神戸や大阪などで淡路島フェアを開催しています。



淡路島バーガー

淡路島ブランドで売り出しているものだよ！
他にもどんなものがあるのか調べてみよう！



牛乳



生しらす丼



生サワラ丼



淡路島ぬーどる



淡路島牛丼

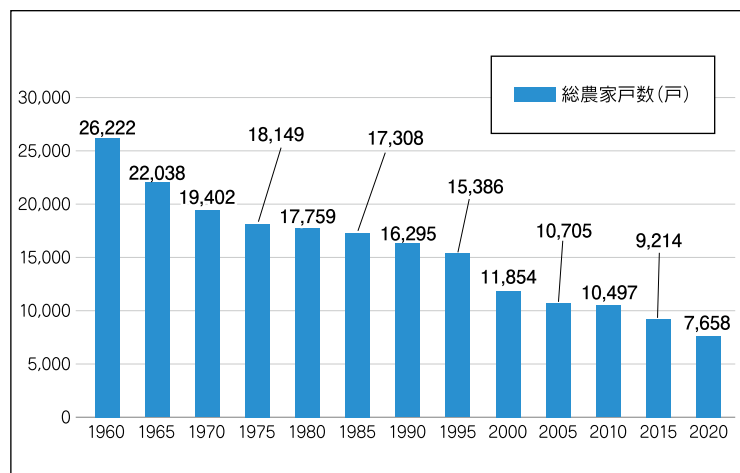
※1 ブランド：同じような商品を他のものと区別すること。ブランド化することで、地域の信頼と知名度をあげ、商品の価値を高めることができます。

2 農業をはじめめる人たち

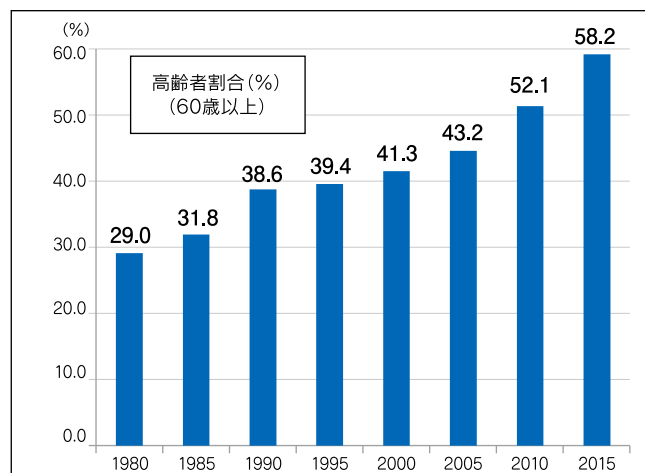


淡路島の農家の数って減っているのかな？ 増えているのかな？

淡路島の特産品が知られてきている一方で、農業をしている人の高齢化が進み、遊休農地※1が増えています。これは、農業の後継者が不足していることが原因です。深刻な後継者不足を解決する取り組みを調べていきましょう。



淡路島における農家戸数の推移
(出典：農林水産省のHPを基に作成)



淡路島における農業従事者数に対する高齢者の割合の推移
(出典：農林水産省のHPを基に作成)

淡路島における遊休農地 320ha

東京ドームに換算すると……約68個分!!

淡路島における遊休農地面積(農業委員会への聞き取り)



遊休農地

農業人口が減ると
どんな問題が起こる
のかな？



淡路島の農業後継者を増やすには、どうしたら良いのだろう？



※1 遊休農地：農地法(農地の保護や権利に関する法律)によって定められた、現在そして将来的に耕作の見込みがない農地のこと。

① 農業にチャレンジする人たち

淡路市北部では、国・県により農地開発が行われたところがあります。しかし、高齢化や後継者不足によって、その農地の活用が難しくなり、現在は多くの土地が遊休農地等になっています。このような遊休農地等を活用し、農業のいない手を育てようとする取り組みが民間企業で行われています。

この民間企業では、島内外の農業をしたい人たちが集まり、淡路島で農業を体験し、実際に淡路島で野菜等を栽培しています。

② 将来の農業をになう人たち

淡路島には農業を教える大学があります。この大学では、これからの農業を支える人を育てるために、農業生産の技術のほか、加工や販売なども含めた6次産業化(13ページに記載)に必要な幅広い知識と技術を教えています。これも淡路島の豊富な自然があればこそ学べることです。

農業にチャレンジする人の話



【淡路島で農業を始めようと思ったきっかけは何ですか？】

私が運営する食堂や給食などで、より安心できる食を提供するため、自分たちがつくった野菜を使いたいと思いました。そこで、以前からお世話になっていた淡路島の農家の方に教えていただき、農地を開墾し、農業を始めました。地域の方の協力を得ながら、無農薬野菜の栽培方法などを日々勉強しています。

【将来の夢は何ですか？】

淡路島でつくった野菜を島外に広く発信していきたいです。また、これからも地域の方々と交流を深めて、淡路島での農業を長く続けていきたいと思っています。

将来の農業を支える若者の話



兵庫県神戸市出身

【淡路島で農業を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？】

子どもの頃から昆虫が好きで、そこから生物農業に興味を持ち始めました。淡路島の大学では、その研究ができることと、地域の方々と深くつながりながら、実際の農業を知ることができる点に魅力を感じ、進学を決めました。

【大学卒業後はどんなことがしたいですか？】

仕事を通じて農業に携わる方々と直接かかわり、淡路島の農業についてさらに知識を深めていきたいです。そして、淡路島の農と食のすばらしさや今後の課題などを発信していけるようになりたいです。

3 これからの農漁業

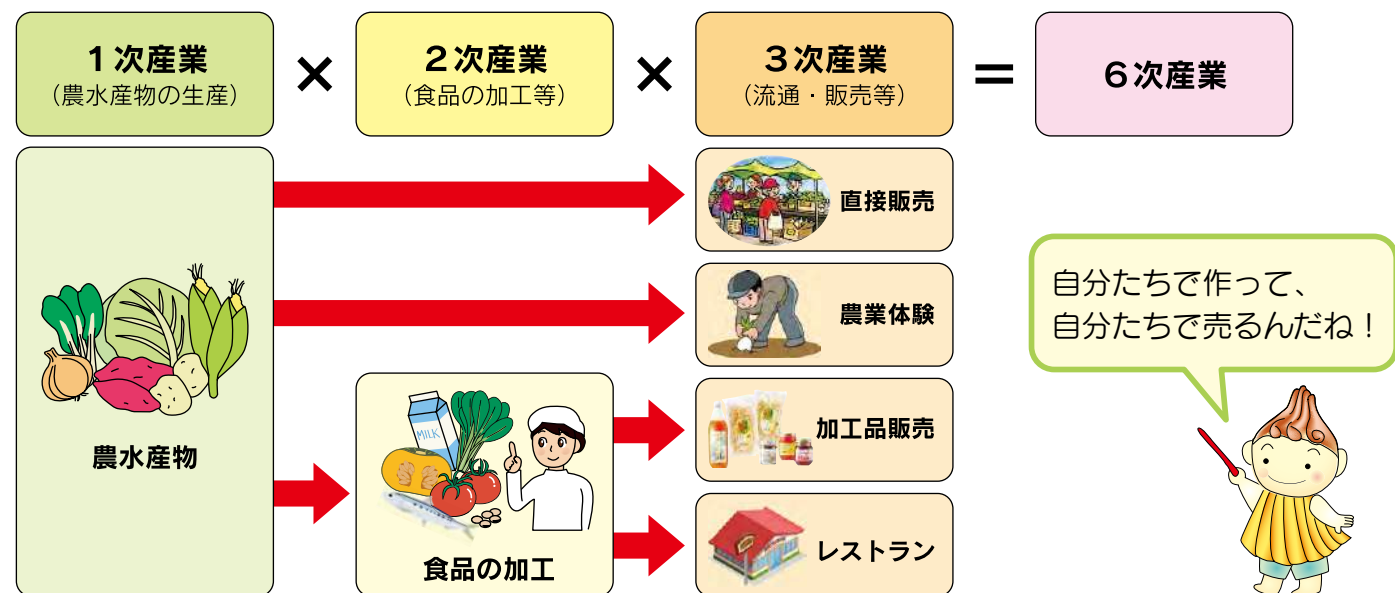


これからの農漁業のあり方を考えよう！

農業、漁業ともに大きな課題は、仕事内容と収入のバランスです。現在は、少量多品目の農水産物では販売先がない状況にあります。他にも機械化が進み燃料や修理にお金がかかっています。そこで、より安定した収入を得るための6次産業化の取り組みを進めています。また、農業機械が排出する温室効果ガスの量を減らす取り組みも進めています。

1 農漁業の6次産業化

農漁業者が、農水産物の生産（1次産業）だけでなく、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）に取り組んでいくことを6次産業化といいます。



2 地域でとれたものを地域で食べる、地産地消

児童数の減少などで閉校した島内の小学校を改築して、レストランができました。このレストランでは、近隣の農場で生産された農産物の加工品や料理を提供し、商品の開発や流通、販売と観光をつなげる取り組みを行っています。



地域活性化のシンボルとして、同様の課題を抱える全国の市町村から注目されているよ。

3 資源循環型モデルの実践

淡路島では、淡路県民局や島内3市と地域住民・団体などの参画（※1）と協働（※2）により、淡路島全域で資源の循環を実践する「あわじ菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。

「あわじ菜の花エコプロジェクト」とは、休耕田などに菜の花を植え、その種を収穫し、搾った菜種油を天ぷらの調理などに利用します。そして、使わなくなった天ぷら油は捨てずに回収して、「BDF（バイオディーゼル燃料）」という軽油の代わりに使える燃料にリサイクルします。

こうした取り組みを進めることにより、温室効果ガスの量を減らすことができます。



農地に侵入するナルトサワギク

特定外来生物（※3）に指定されている「ナルトサワギク」が淡路島で大繁殖しています。埋め立て地や空き地、そして耕作放棄地にも侵入しています。

ナルトサワギクは、日本では1976年に徳島県鳴門市で初確認され、1986年に淡路島で採取されました。埋め立て地の緑化に使うために輸入した植物の種子に混入して広まったと考えられています。

黄色の花を1年中咲かせることができ、種子を風によって拡散させるなど繁殖力が高く、日本にもともといた生き物などの生育地を奪っています。また、牛や馬などの家畜が食べると中毒症状を起こす成分を含んでいます。淡路島の農業や景観に大きな影響を与えるナルトサワギクをこれ以上拡げないために、見つけたら防除活動に取り組みしましょう。

【ナルトサワギクの防除の仕方】

- ①根元から引き抜く
- ②種子の飛散防止のため、その場で二重にした袋に入れる
- ③袋ごと「燃えるごみ」として焼却処分する



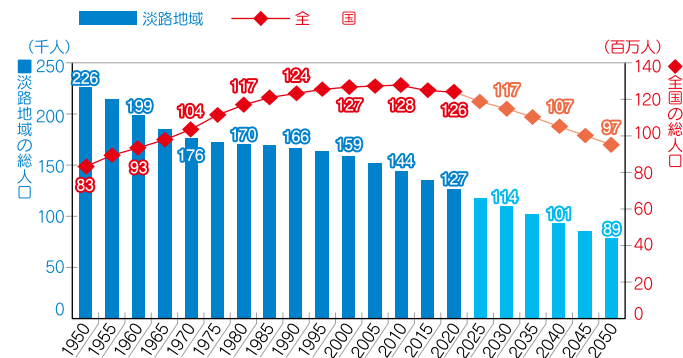
※1 参画 : 事業などの計画に加わること。
 ※2 協働 : 同じ目的のために、ともに力を合わせて活動すること。
 ※3 特定外来生物 : 人間によって持ち込まれた外来生物のうち、日本にもともといた生き物や農林水産業などに悪い影響を与えるもの。

1 ちいきしげん い 地域資源を活かした地域づくり

淡路島の「魅力」や「くらしやすさ」って どんどころにあるのだろう？

① 定住人口の減少をおさえ、交流人口の増加を

日本の多くの農山漁村と同じように淡路島でも人口^(※1)が減少し、活力が失われる心配があります。そこで、定住人口をなるべく減らさないようにするとともに、観光で訪れる人や島外から移り住む交流人口を増やすことが必要です。



全国及び淡路地域の総人口の推移 (2025年以降は予測)
(出典:総務省のHPを基に作成)

② 淡路島の地域資源

淡路島にはすばらしい地域資源^(※2)がたくさんあります。たとえば、温暖な気候、美しい景色、古い街並み、歴史と文化、おいしい食べ物などです。また、ゆっくりとした時間の流れや、人々の温かさなども地域資源といえます。



神戸、大阪、徳島に近いことも魅力の一つだね。



【淡路島での活動】
農業体験などを行い、移住のお手伝いをしています。



【東京での活動】
淡路島のくらしやすさを東京で情報発信しています。

③ 地域資源を活かした活性化

淡路島各地では、さまざまな地域資源を活かし、地域を元気にするための取り組みが行われています。また、となりの地域とも一緒になって、地域の魅力を発信しています。

地域を元気にするアイデアをみんなで話し合ってみよう。

洲本市五色地区

洲本市五色町を中心に、地域住民と大学とが一緒になって、地域課題の解決や地域づくりに継続的に取り組む「域学連携事業」を行っています。

これまで、ため池に太陽光パネルを設置したり、かいほりツアーなどを行ってきました。



かいほり

2016年には、洲本市五色町鮎原下地区にある古民家を改修して、活動拠点「ついではん」ができました。



ついではん

が協力して、地域資源を活かした地域活性化に取り組んでいきたいです。
(洲本市域学連携推進協議会スタッフの話)

南あわじ市沼島地区

沼島には、1950年代の日本の姿が残っています。歴史や自然があふれ、「人のつながり」もあり、都会にはない魅力を持っています。



淡路島から見た沼島

2013年には、古民家を改修し、沼島の情報を発信する総合観光案内所「吉甚」ができました。

「吉甚」に遊びに来る地元の中学生は、「沼島が都会の人から見れば『宝の島』である」ことに気づき、「島を誇りに思うようになった」そうです。

沼島には、地域資源がたくさんあるので、住みやすい島になるよう活用していければと思います。



吉甚

(沼島総合観光案内所「吉甚」スタッフの話)

淡路市五斗長・生田・長澤地区

五斗長地区には全国的にもめずらしい鉄器づくりを行っていた五斗長垣内遺跡^(※1)があります。この貴重な遺跡を地域資源として、古代体験やイベントを行っています。さらに、食事や交流ができる施設もでき、年間7千人が訪れています。



自然薯

(他の山芋と比べて風味、ねばりが強いのが特徴)

近くにある生田地区では、美しい風景の段々畑にソバが栽培されています。使われなくなった保育所を改装して「手打ちそば」の店を開いたところ、年間1万人も訪れる人気店となり、地域の活性化に役立っています。

また、となりの長澤地区でも、1メートルを超える自然薯を使った食堂を開き、地域特産物を宣伝するイベントも行っています。

この三地区をのんびりと周遊してもらいながら、地域の魅力を再発見してほしいです。(3地区連携推進協議会スタッフの話)



五斗長垣内遺跡



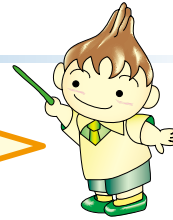
そば花

※1 人口 : その地域に住んでいる人のことをさす定住人口と、その地域を訪れたり滞在したりする交流人口とがあります。定住人口と交流人口を合わせた人口を増やすことが、地域の活性化につながっていきます。

※2 地域資源 : その地域にしかない特色のあるものや人のこと。

2 淡路島らしい仕事づくり

淡路島の地域資源を活かした仕事や働き方ってなんだろう？



島内各地で農業、観光、地場産業などを活かした仕事や、新しい働き方を考える動きが生まれています。

① 都会にない価値観を求めて、島に移住した人たち

淡路島は温暖な気候で景色が美しく、都会にはない魅力がたくさんあります。そうした都会にない価値観を求めて、淡路島に移住する人たちがいます。淡路島に移住しやすいように、相談窓口を開くなどの取り組みが行われています。

② 働きたいすべての人たちに、働く場づくり

すべての人たちには、それぞれの力を活かすことのできる「役割」や「仕事」があると考え、障がい者・働く意欲のある高齢者・引きこもりの青少年などにも、はたらき方を考え、仕事をつくったり、関係者をまとめたりしている団体があります。

また、島外からの移住希望者の支援を行っている団体や、淡路島でくらす人々が、個人の世界観を広げ、心豊かな生活ができることをめざしている団体もあります。



あなたの淡路暮らしを
本気で応援ツアー



豊かなくらして、
どんなくらし？
みんなで話し合って
みよう。

参考：

NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路 <http://awajisoda.jp/>
NPO 法人あわじ FAN クラブ <http://awaji-fan.com/>
NPO 法人淡路島アートセンター <http://awajishima-art-center.jp/>

実際に移住した人たちの話

岡山県出身。大阪の会社で住宅設備のデザイナーをしていましたが、ゲストハウスを作る夢を叶えたいと思い退職。その後、知人と訪れた淡路島で風土を活かしたモノづくりに興味を持ち、2018年に移住しました。地域おこし協力隊の活動を経て、現在は空き家を改装したシェアハウスを運営しながら、淡路島での子育てを楽しんでいます。今後は、空き家から引き取った「古いもの」を修理して販売する事業に挑戦したいと思っています。



福井県出身。関西、東京、海外で、料理や農業、キャンプショップでの勤務を経て、穏やかな気候で、都市部に近い淡路島に魅力を感じて移住しました。現在は地域おこし協力隊として集落に入り、ジビエ^(※1)加工処理施設の運営や新たな事業の立ち上げなどに地域の方とともに取り組んでいます。今後は、淡路島の自然と人の魅力を島内外に発信し、自然について考えるきっかけづくりをしていきたいです。



※1 ジビエ : 食材となる野生の鳥獣。また、その肉。シカ、イノシシなど。

3 高齢者にやさしい島

高齢者にやさしいまちづくりを考えよう。



島内の人口が減少する一方で、高齢者は年々増加しており、人口に占める65歳以上の高齢者の割合は今後ますます高くなっていきます。また、高齢者の一人ぐらしや夫婦だけの世帯も今後増加していくと予想されています。このため、高齢者が、住み慣れた地域で健康で安心して生活できるまちづくりを進める必要があります。

① 高齢者の健康・居場所づくり (いきいき百歳体操)



いきいき百歳体操

いきいき百歳体操は、おもりを手首や足首につけて行う筋力運動です。おもりは2kgまで調整が可能なので、その人の筋力や体力に合わせて行うことができます。いすに座ってゆっくりと手足を動かしていきます。

高齢者の歩く力を高め、骨を折って寝たきりになることを予防するため、島内各地で取り組みが進められています。

【実施場所:304か所(2022年12月末現在)、登録者:6,224人(2022年3月末現在)】

② 複合型福祉拠点の整備

旧県立淡路病院の跡地を活用し、特別養護老人ホーム、障がい者多機能型事業所^(※1)などを備えた複合型福祉拠点^(※2)や認定こども園が整備されました。高齢者や、障がい者、子ども達が安心してくらすまちづくりが進められています。



洲本市立なのはなこども園・特別養護老人ホーム「くにうみの里」

③ 安心してくらす地域づくり

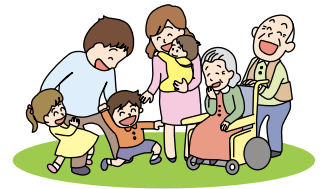
高齢者がいつまでも安心して、住み慣れた地域にくらしていけるように、自動運転の自動車を走らせたり、ドローンで物を運んだりすることができる新しい技術を使ったまちづくりに取り組んでいます。



自動運転実験車両(淡路市夢舞台)



高齢者や障がい者が、福祉サービスを受けながら、地域の人々や子ども達とも交流できる拠点となるよ。



※1 多機能型事業所 : 障がい者通所支援(デイサービスや訪問支援など)及び障がい福祉サービスのうち、2つ以上の事業を一体的に行う事業所。
※2 複合型福祉拠点 : 高齢者、障がい者、地域住民などが一緒に利用できる福祉施設。福祉の種別を超えて必要な福祉サービスが受けられるように集約された福祉サービスの拠点。

1 どんな島が良いのか考えてみよう

みんなが考える将来の淡路島はどんな島かな？
将来の淡路島について話し合ってみよう。

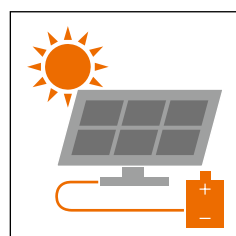


これまで、あわじ環境未来島構想による取り組みを見てきました。これらの取り組みを参考にして、わたしたちの住む淡路島の将来について考えてみましょう。

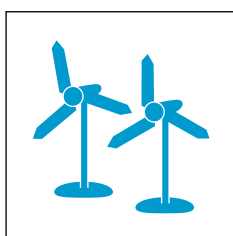
将来の淡路島はどんな島？

わたしたちが住む淡路島を、もっとすてきな島にするにはどうしたらいいでしょうか。自分たちが考える将来の淡路島を下の例を参考にしてつくってみましょう。

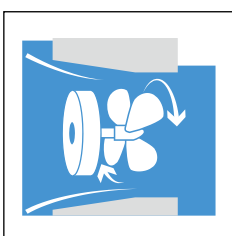
取り組みの例



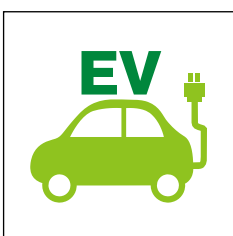
太陽光発電



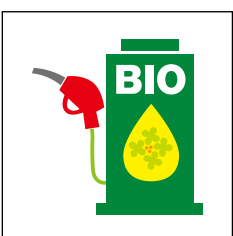
風力発電



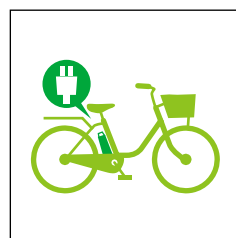
潮流発電



電気自動車



バイオマス



電動アシスト
自転車



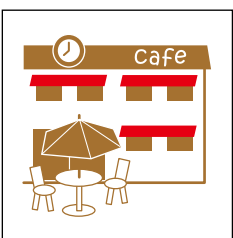
農業を学ぶ学校



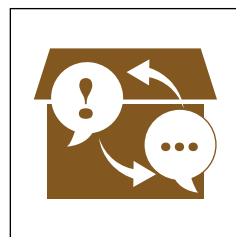
農業後継者の育成



仕事づくり



廃校舎の活用



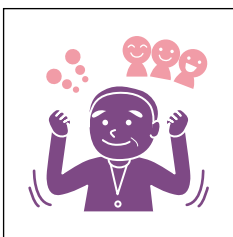
交流施設



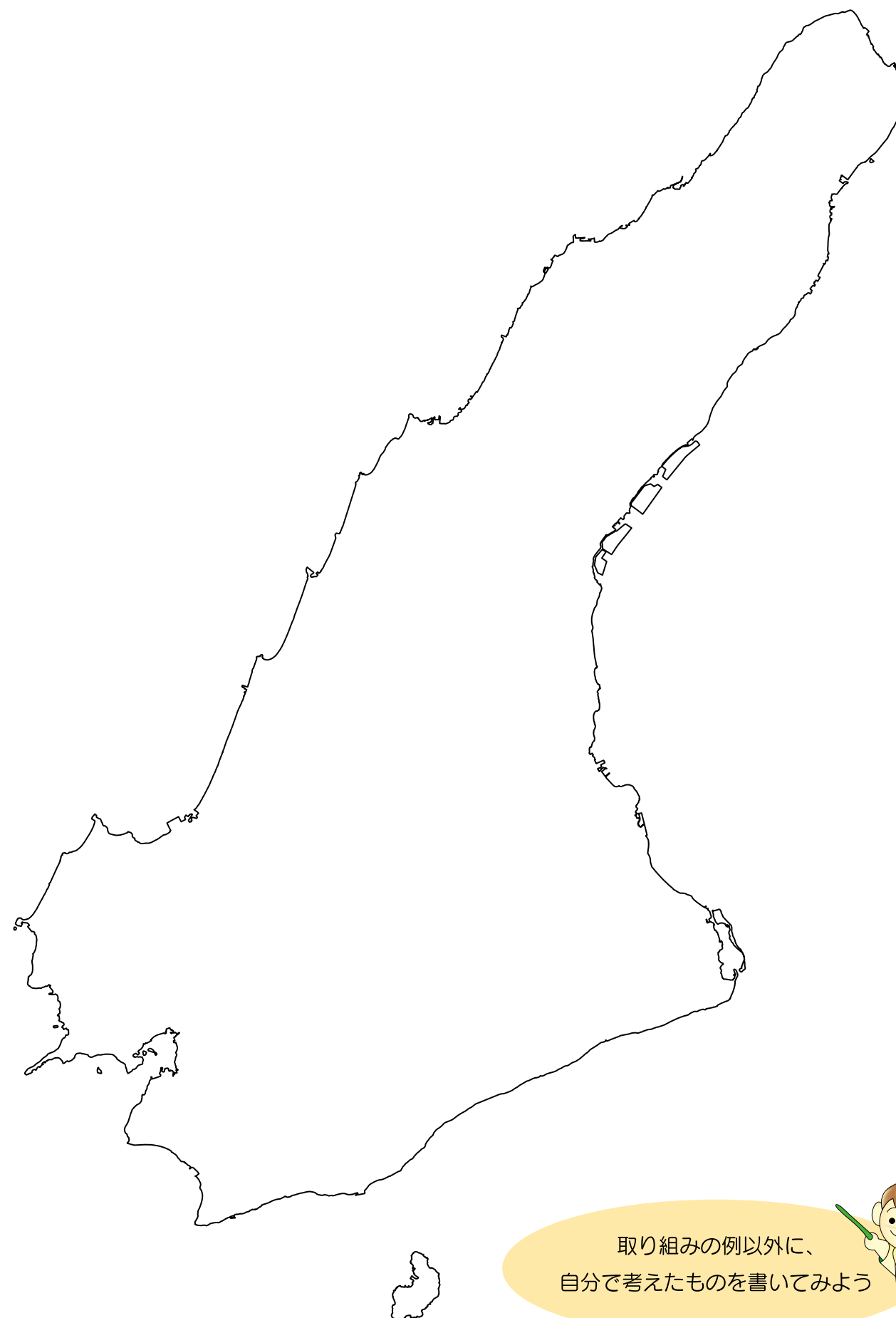
地域おこし



淡路島に移住する人



高齢者の安心を
支える街づくり



取り組みの例以外に、
自分で考えたものを書いてみよう



わたしたちの考える^{しょうらい}将来の淡路島

2 わたしたちにできること



みんなが考える淡路島にするためには何ができるかな？
実際に体験した人の感想も聞いて考えてみよう。

これまで、わたしたちの住む淡路島しょうらいの将来について考えてきました。ここでは、実際にあわじ環境未来島構想かんきょうの取り組みを見学した人たちの感想を見てみましょう。そして、わたしたちにできることは何か、考えてみましょう。

淡路島の人が減っているの
におどろいた。
(淡路市小学3年生)

五斗長垣内遺跡で、まが玉を
作るのが楽しかった。
(洲本市小学3年生)

淡路風力発電所を見学して、風力
発電をもっと増やして工コに発電
してほしいと思った。
(南あわじ市小学5年生)

チャレンジファームを見学して、淡路島で農業をする人は少なくなっているのに、農業をやりたい人を育てたり、^{おうえん}応援することは大切なことだと思った。

(南あわじ市小学4年生)

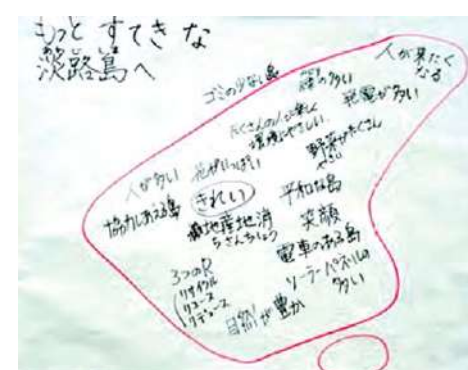
のじまスコアを見学して、
もともと小学校だった所が、
レストランになっていたこと
におどろいた。

(淡路市小学5年生)

菜の花エコプロジェクトを
見学して、BDFがいろいろ
な所で使われていて、びっ
くりした。
(淡路市小学5年生)

あわじメガソーラー1を見学して、
もっと太陽光発電が増えたらいい
と思った。（洲本市小学6年生）

電気自動車はとても静かでおどろいた。（南あわじ市小学4年生）



すてきな淡路島になるように、
みんなで話し合っているね。

【参考文献・引用文献】（五十音順）

「淡路島百景」 淡路県民局洲本土木事務所
「淡路地域農林水産ビジョン2020」 淡路県民局洲本農林水産振興事務所
「あわじ菜の花エコプロジェクト」 あわじ菜の花エコプロジェクト推進会議
「淡路島のいきいき百歳体操」 淡路県民局洲本健康福祉事務所
「Energy Statistics 2020」 Ministry of Statistics and Programme Implementation
「エネルギーを考えよう」 四国電力株式会社
「環境未来都市提案書」 兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市
「令和3年度版高齢社会白書」 内閣府
「人口推計」 総務省統計局
「第70次兵庫農林水産統計年報」 兵庫農林統計協会
「地域活性化総合特別区域指定申請書」 兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市
「電力事情について」 電気事業連合会
「農林業センサス」 農林水産省
「発電に占める燃料の種類と割合」 ニューラル Sustainable Japan
「レファレンス 2013年9月」 国立国会図書館
「わかる！国際情勢 vol.86」 外務省

【写真・取材及び資料提供協力者】（五十音順）

（個 人）	（団 体）
赤松 清子	淡路市
五十嵐太郎	株式会社淡路貴船太陽光発電所
大原 浩	NPO 法人淡路島環境整備機構
大村 太一	一般社団法人淡路島観光協会
金子 猛	一般財団法人淡路島くにうみ協会
川淵 朴貴	淡路島サワラ食文化推進協議会
黒川 香苗	淡路地域雇用創造推進協議会
重永 大慈	生田地域活性協議会
高田 一民	ウェルネスパーク五色
田村伊久男	関電エネルギー開発株式会社
西村 昌晃	吉備国際大学農学部
西脇 章	五斗長まちづくり協議会
畑山信乃武	3 地区連携推進協議会
藤澤帆奈美	城下町洲本再生委員会
細谷 光宏	食のブランド「淡路島」推進協議会
茂木 綾子	洲本市
（敬称略）	株式会社チューリップハウス農園
	長澤元気村協議会
	沼島総合観光案内所「吉甚」
	のじまスコーラ
	株式会社パソナ農園隊チャレンジファーム事業部
	兵庫県
	兵庫県社会福祉事業団
	南あわじ市

おわりに

2012年（平成24年）10月に開催された「淡路くにうみ夢フォーラム」をきっかけに「あわじ環境未来島副読本」を作成することとなりました。

本書は、淡路島の子どもたちに、県と市、地域住民が一緒に取り組んでいる「あわじ環境未来島構想」をよりわかりやすく具体的に伝えたいとの思いから「淡路ふるさと学習副読本」とともに作成を進めてきたものです。ふるさと学習で、淡路島の昔と今の様子を学習し、その延長上で未来島構想を学びつつ、一人一人の子どもが淡路の未来を考えるきっかけにしてほしいと考えています。

執筆は島内の小中学校の先生にお願いしましたが、先生方には、太陽光発電所や五斗長垣内遺跡など、未来島構想を推進するためのプロジェクトが実際に進められている現場を訪れ関係者から話を聞くなど、取材を重ねながら執筆にあたってくださいました。

また、島内の親子でプロジェクトを体験・見学する「あわじ環境未来島セミナー」にも講師として参加し、その際の子どもたちの意見や感想も副読本の内容に盛り込むなど、読者の子どもたちが身近に感じることができるよう工夫も凝らしていただきました。

豊かで美しい自然環境や守り継がれてきた伝統・文化、興味深い歴史、おいしい食べ物など、淡路島には魅力的な地域資源が沢山あります。しかし一方では、人口減少や少子高齢化など、今後の淡路島を考える上で大きな課題もあります。子どもたちがこの副読本を通じて、淡路島のいいところをどんどん発見し、さらに住民の一人として、これからの淡路島をどのような地域にしていきたいかなどを考えるきっかけになれば、これほどうれしいことはありません。

本書の作成にあたりましては、「あわじ環境未来島・淡路ふるさと学習副読本作成委員会」委員の皆様をはじめ、学校現場の代表として参加をお願いした6名の先生方、印刷を担当していただいた㈲浜田デザイン写植様、その他、資料や写真の提供や著作物の使用許諾をしていただいた皆様など、多くの方々にご協力・ご支援をいただきました。ありがとうございました。

未来をになう子どもたちに、もっとこのすてきな淡路島のことを好きになってもらい、淡路島を誇りに思う子、進学や就職で島外に出ても、いつかは戻ってきたいと思う子が育つことを願っています。

淡路教育事務所長

あわじ環境未来島構想



HP



Instagram

「あわじ環境未来島副読本 ーみらいー」

2014年（平成26年）3月（第1刷）

2023年（令和5年）3月（第10刷）

発 行 兵庫県淡路県民局
兵庫県教育委員会淡路教育事務所
〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋2-4-5
TEL.0799-22-3541（県民局）
TEL.0799-26-3205（教育事務所）
一般財団法人淡路島くにうみ協会
〒656-0022 兵庫県洲本市海岸通1-11-1
TEL.0799-24-2001

印 刷 有限会社 浜田デザイン写植